

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年12月26日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳)東灘6,灘3,中央3,兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8,長田3,須磨6,垂水8,西8

第 2週 平成30年1月8日 ~ 平成30年1月14日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	70	51	50	22	89	74	134	218	202	910	2	13	36	47	40	35	52	45	43	48	47	132	50	45	58	84	53	42	26	12

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳)東灘4,灘2,中央2,兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5,長田2,須磨4,垂水5,西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~							
RSウイルス感染症	3			1			2	8	5	19	4	7	2	3	1	1	1														
咽頭結膜熱	2							2		4			2		1				1												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	3			2	2	1	4	24	45			4	2	5	8	5	8	4	2	2	3	1							1	
感染性胃腸炎	6	3	10	3	25	11	39	60	17	174	1	14	37	19	11	12	6	9	8	2	9	18	8							20	
水痘			3		1	1	1	2		8			1	1		2			2	1										1	
手足口病	1	1			1					3			1	1							1										
伝染性紅斑																															
突発性発疹	1			1					1	3			2		1																
ヘルパンギーナ																															
流行性耳下腺炎									4	4																					

インフルエンザの定点あたり患者数は今週19.0人(先週4.5人)と増加し、注意報水準である10人以上となりました。今シーズンは、例年と比べ、B型インフルエンザの患者が多く、市内のインフルエンザ病原体検出状況は、A(H1N1)pdm09亜型14件、AH3亜型10件、B型(山形系統)10件です。3種類のインフルエンザの流行により、一度感染しても、別の種類に再度感染する可能性があります。手洗い・うがいを励行しましょう。また、インフルエンザに罹患したおそれがある場合は、咳エチケットを心がけ、速やかに医療機関を受診しましょう。

※医療機関のみならず、注意報が発令されたことに伴い、1月22日(月)から登録医療機関を対象として「IL情報センター」ホームページに入院病床の空床情報掲載を始めます。ご活用ください。

[インフルエンザ総合対策 厚労省HP](#)

※百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。

報告定点数 10 ケ所 (内訳)東灘1,灘1,中央1,兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1,長田1,須磨1,垂水1,西2

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~		
急性出血性結膜炎																															
流行性角結膜炎					1	1				2														1					1		

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:0歳2か月 男
○マイコプラズマ感染症2例:11歳 男、34歳 女
灘 区○マイコプラズマ感染症1例:12歳 女
中央区○ノロウイルス感染症1例:2歳 女
北 区○ノロウイルス感染症1例:0歳7か月 男
垂水区○ノロウイルス感染症1例:1歳 女
○アデノウイルス感染症1例:6歳 女
○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)2例:年齢性別不明
西 区○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:38歳 男

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型またはB型
403	413	1

【市内の感染症の状況】

○インフルエンザ **注意報** 季節性インフルエンザ流行状況
今週のインフルエンザ患者の報告は、定点あたり19.0人(先週6.2人)で、注意報水準(定点あたりの患者数が10人)を超えました。市内の学校園では、学級閉鎖が急増しています。また、全国的に例年の同時期と比較して、B型の検出率が高いです(詳細は、左下の表)。

【行政検査情報】※行政検査:公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査
○麻しん(五類感染症)疑い 検査結果:PCR陰性のため発生届出取下げ
・29歳 女 ・症状:発熱、発疹、咽頭痛等
・渡航歴なし ・麻しん患者との接触歴なし ・ワクチン接種歴あり(詳細不明)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

[「IL情報センター」ホームページを開発しています。詳細はこちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2018年1月16日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は6人(うち潜在性結核感染症3人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 コレラ)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種等	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2018年1月5日	2018年1月6日	2018年1月13日	○1 小川型	便培養法	下痢・軟便 嘔吐・脱水 無尿	不明	渡航歴なし

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	2018年1月9日	2018年1月9日	2018年1月12日	病原体不明	臨床決定	発熱・嘔吐 痙攣・意識障害 その他(髄液タンパク質の増加)	不明	-

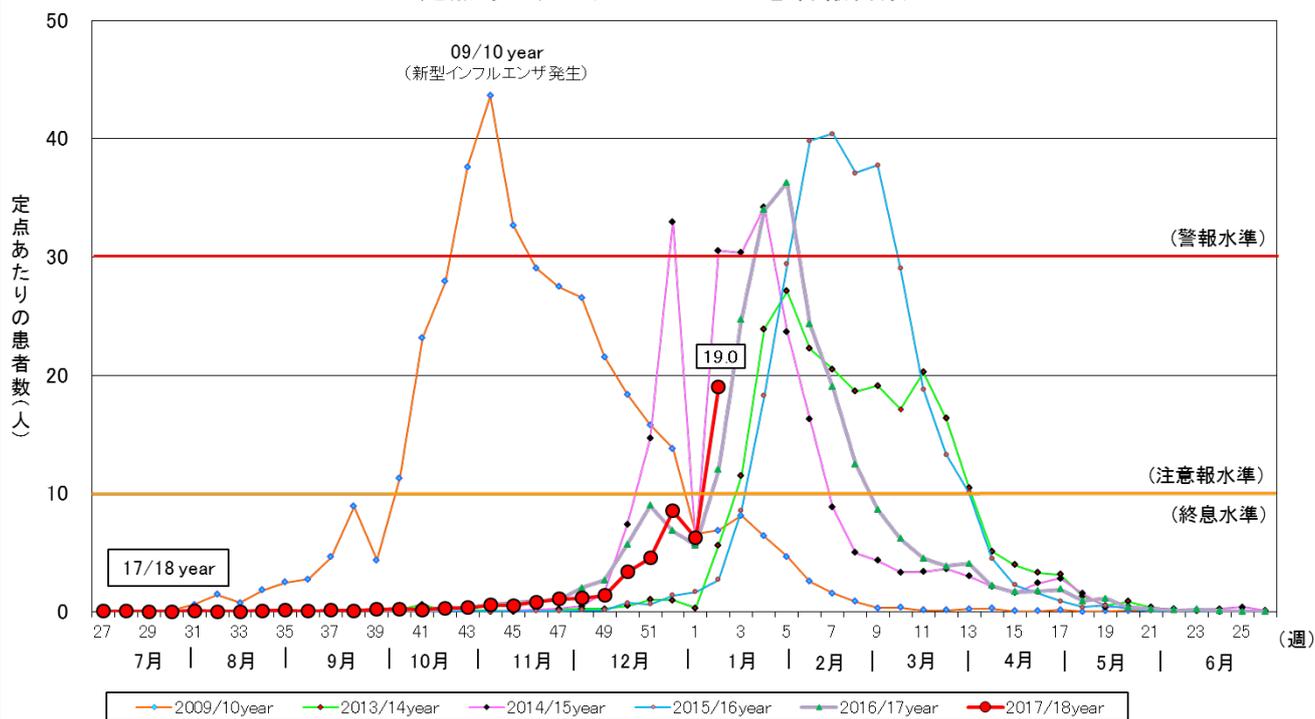
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	50代	2018年1月4日	2018年1月6日	2018年1月8日	-	分離・同定による 病原体の検出(血液)	発熱 全身倦怠感 肺炎、菌血症	不明	ワクチン接種なし
男	70代	2018年1月9日	2018年1月9日	2018年1月10日	-	分離・同定による 病原体の検出(血液)	発熱、咳 肺炎、菌血症	インフルエンザ罹患後に肺炎球菌感染	ワクチン接種なし

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨	50歳 男(12/25採取、発熱なし、インフルエンザ、ワクチン未接種)
ノロウイルスGII	便	垂水	1歳3ヶ月 女(1/9採取、発熱なし、感染性胃腸炎)
淋菌	尿道分泌液	垂水	42歳 男(尿道炎、薬剤感受性試験:PCG(中間耐性)、CFIX、CTRX、AZM(感受性))
侵襲性肺炎球菌	菌株	中央	78歳 男(発熱(39.8℃)、意識障害、血清型:6(6A/6B/6C/6D))
侵襲性肺炎球菌	菌株	中央	70歳 男(発熱(38.3℃)、咳嗽、鼻汁、血清型:23A)
侵襲性肺炎球菌	菌株	中央	5歳3か月 男(発熱(40℃)、熱性けいれん、血清型:12F(12A/44/46))
コレラ菌	菌株	中央	74歳 男(下痢(水様便)、血清型O1(エルトル小川型) コレラ毒素遺伝子(CTX)陽性)

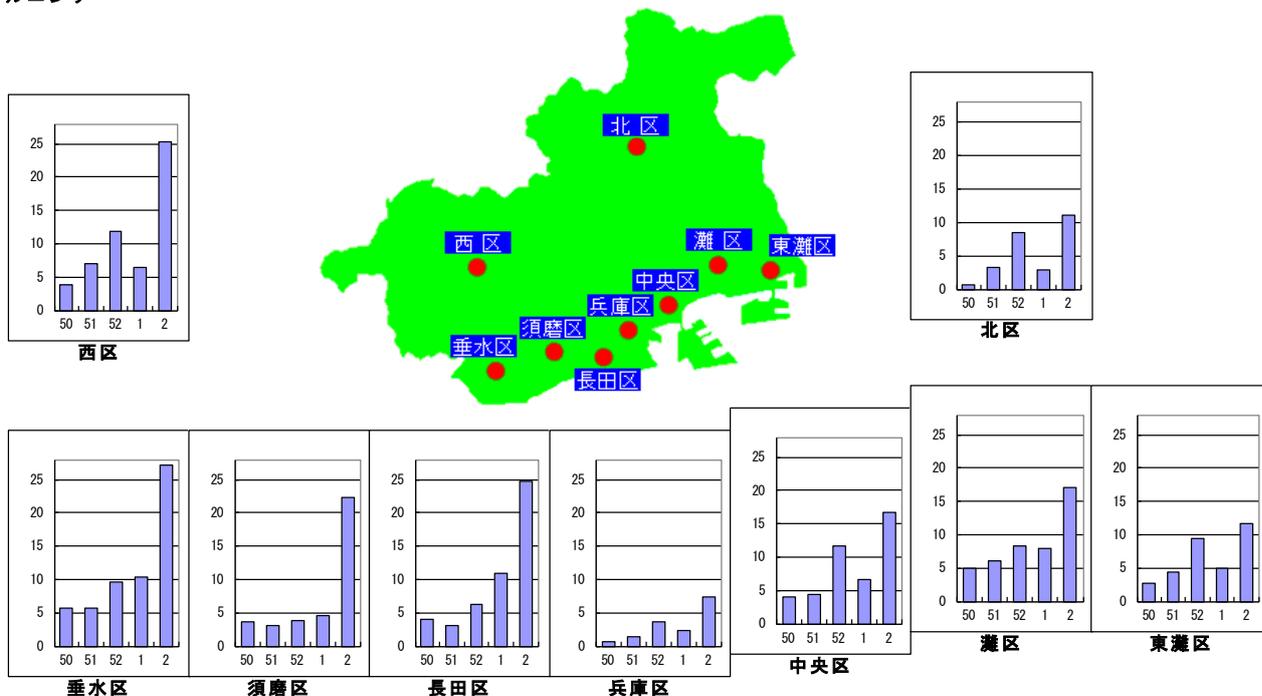
定点あたりのインフルエンザ患者報告数



疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

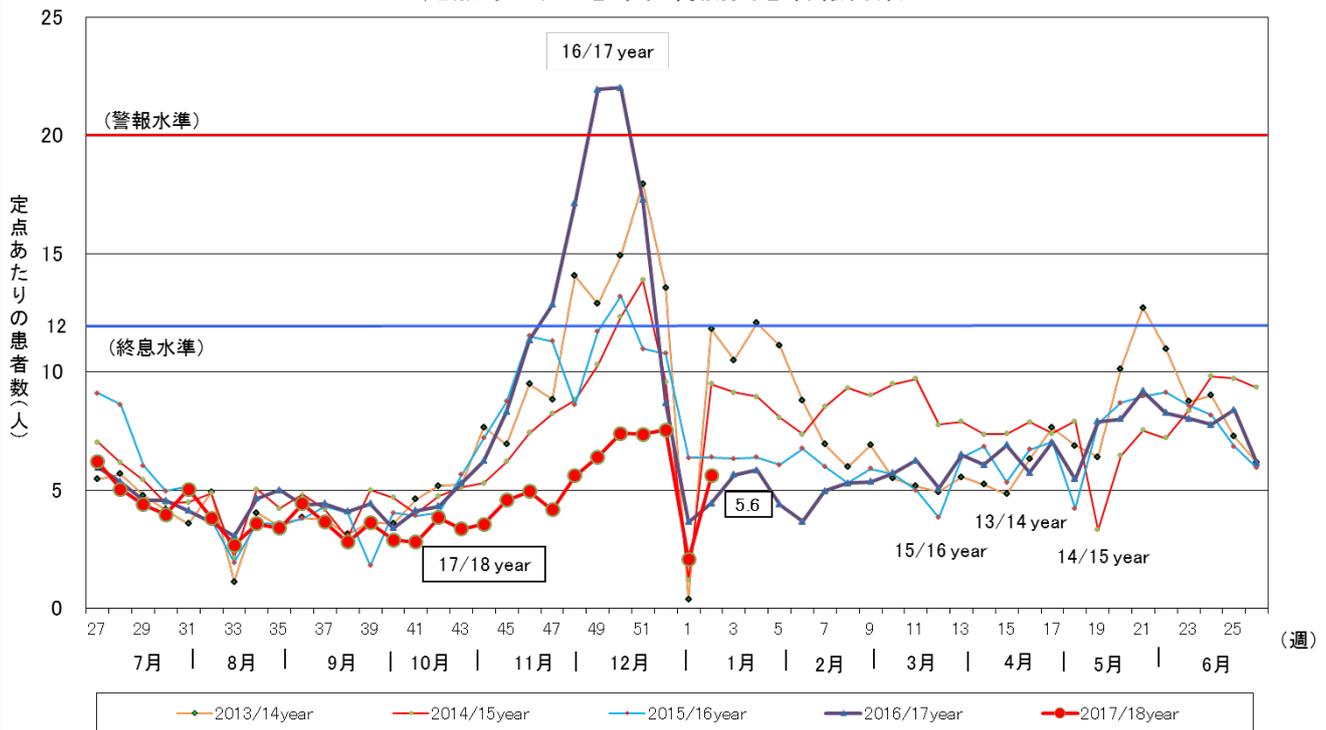
第 50 週 平成29年12月11日 ~ 第 2 週 平成30年1月14日

インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均シグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数

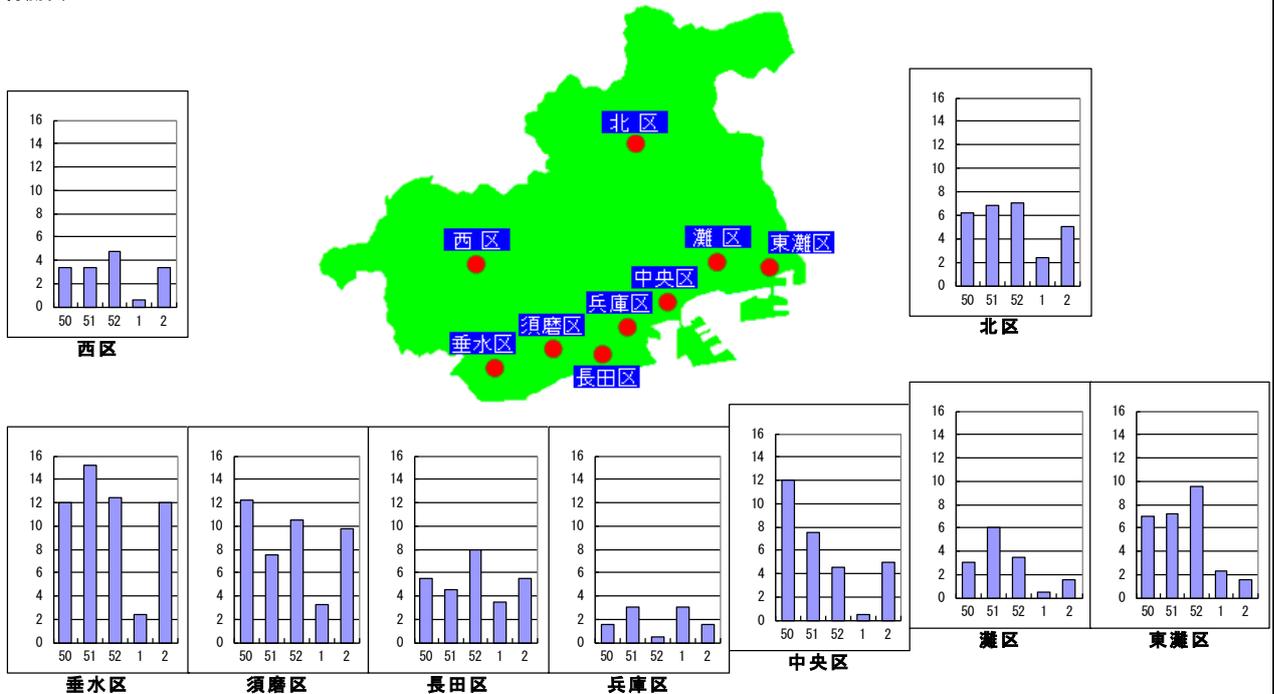


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 50 週 平成29年12月11日

~ 第 2 週 平成30年1月14日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。